

# ユニオンショック

2022年12月 305号  
よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX045-575-1948  
E-mail yuniyoko@d2.dion.ne.jp  
ホームページ http://yuniyoko.sakura.ne.jp  
組合費納入 横浜銀行 鶴見西口支店 普 1309777  
郵便振替 00230-4-30435 よこはまシティユニオン



12/17

## 画面越し17名が交流

ハイブリッドで新組合員歓迎会

22年の締めくくりにと久々に開催した新組合員歓迎会に、17名が参加。オフィスの壁に設置したスクリーンを通して新旧組合員が2時間交流しました。まず、担当役員が

各組合員の加入から現在までの闘いの経過を簡単に紹介した後、その組合員からひと言ずつお話ししてもらいました。業種や職種、ユニオン加入の動機や時期や活動歴は一人ひとり違います。職場で受けたハラ

スメントや理不尽な働き方によって強いられた苦悩や闘いの大変さは共通の思いとして共有できました。また、画面越しであれ久しぶりに見た笑顔と、各人が自分の状況をはつきりと語る姿はとても頼もしかったです。今後、工夫しながら組合員同士の交流や情報交換の場を作っていくたいと思います。皆さま、一年お疲れさまでした。

## Tさん、コロナ後遺症でも労災認定

### 病院では、喫煙所が原因でコロナ集団感染発生

20年11月、看護師Tさんが新型コロナウイルス感染症に罹患しました。いわゆる後遺症が改善せずに長期の休業を余儀なくされ、労災請求をしました。病院は労災請求に協力しませんでした。労働基準監督署は21年8月に労災認定しました。ただし、地方労災医員は、発症1年以内が妥当でそれ以上は変更の可能性があると意見でした。Tさんは、発症から1年以上過ぎましたが改善しません。22年6月には、同年5月までの後続分を労災請求した結果、

11月に無事労災認定されました。一方で病院は、Tさんの新型コロナウイルスを一貫して労災と認めようとしません。「感染経路不明」では対策が不十分になりません。交渉を重ねていた21年12月、8ヶ月ぶりに職員の新型コロナウイルスが発生しました。なんとその原因は「密集での喫煙所の利用」でした。22年2月に

は、職員14名と患者さん13名という、これまでにない多数の新型コロナウイルス感染症が発生したのです。ユニオンは4月に、喫煙所の廃止等を求めましたが、病院側は、市中感染が増えただけだ、21年12月の職員アンケート結果からも廃止は困難など回答しています。実はそのアンケートでは、喫煙者自身が感染への不安を訴えていました。

ユニオンは、会社の姿勢に関わらず、新型コロナウイルス感染症は後遺症（罹患後症状）も含めて労災認定されることを、広く訴えていきたいと考えています。【川本】

## 師走にも脱原発を叫びおり

12/11



日曜の横浜駅西口。人々がせわしなく行き交う中、横断幕を掲げて原発反対を訴えながら組合員ら12名が今年最後のピラマキを行いました。来年1月11日(水)は、17時～関内駅頭で行います。防寒対策をしてご参加を！

## 大樹生命 セクハラ 裁判 12/7

東京地裁

セクハラ上司Eと会社に対し謝罪や賠償等を求めているTさんの裁判。裁判官の勧告により12/7は和解協議が行われました。次回2/10も和解協議を継続する予定です。